

**巴里大博覽會**又開する報告  
本月六日より佛國巴里に開設したる萬國大博覽會に關する詳細の報告を得んが爲め開會中在倫敦の高橋義雄氏を特別通信委員として巴里府に出張滞在せしめたわれば同博覽會の實況に就ては精確の記事を時事新報又提げて讀者に報告するを得べし

鐵道の風貌

華族は帝室の藩屏たるべきものなれば、特別に之を保護せざる可らず又五分利付の整理公債を算りたる今日に當り歸り去る十年の亂に際し華族より借りれたる負債よのみ依然として七分の利息を付するとありては明年國會の開設又當り衆議院と對して財政の整理を講る足らざれば今より早く右の始末をなさる可らず一方には華族を保護するの要あり一方には七分利付の負債を消却するの急ありて政府又ては官設鐵道を華族に實拂ひて以て同族永遠の財産とあさしめ兼て彼の高利負債を悉皆消還せんとの自論見あるよし近來頗る世に傳せり事實如何は詳知する所非されども元來華族保護の事は故岩倉右大臣の最も深く意を致したる所にして華族銀行の設立も必竟同大臣の力もあり右府は又頗る鐵道事業に注目し往々は鐵道を擧げて華族の「實產」<sup>じつさん</sup>と號せしめんと欲したるは我輩の能く知る所なれば思ふよ今の政府に於ても猶ほ其論旨は消滅せずして偶々國會開設の機に觸れて爰々再燃したる次第ならんう風説とは云へ強ち虛傳にも非ざるべしと我輩の測量する所あれども抑も岩倉右府在世の時代と今日とは世局殆んど一變して社會の事務は日にますく繁多と加へ其繁多と共に世間もますく廣くありて單より複に入るの最中なれば此間に立ちて事を處せんと欲するものは唯公平を以て一の主眼とあすの外ある可らず蓋し公平なる語を哲學上より解剖すれば結局漠然たる正道公道を基本とするものならんあれども今の難駁なる論理には道理必ずしも道理あらざれば唯天下の與論を據りとして之に從ふものを公平と認むるは先づ以て宜しき又過ふものあらん忽然ならば岩倉右府の時代には華族が尊恩に浴するも亦不可あかりし事ある可けれども余の時勢を顧みし今の輿論を窺ふときは華族が庶て風き政府の保護を蒙る上に復た恩澤を重ねるとありては

は所南公平の旨を擧たるものにあらずして世間に物語  
を生ず可きや必然の時勢あり且今の官設鐵道の價をば  
前に依て算定せんとするか是亦た一問題なり或は原價  
三千両百萬圓と云ふ者あれども物の賣買は其時の相場  
ニ從ふ可きのみ原價云々は商賈社會に通用す可き吾に  
此ののみか其原價三千両百萬とは鐵道の建築費を何  
等の過よまで計算したるものか夫れさへ甚ざ分明なる  
可らず又へば材料の代價、火足の賃錢、雇人の給料等は  
鉄道の運営からも鐵道の敷地に當りたる官有地の價  
は今より遠く評するひ易からず、又政府よて鐵道局  
を設けて多年の間種々様々に經營したる其局費并に官  
本利合計の月給の額を通算して其幾部分を現在の鐵道  
の運営へて至る多寡を是れも専門に定め難い事  
のを以て鐵道の價を算定するの外ある可らず  
然らずして二三當識者の測定に従ひ至難か

きは華族を保護せんと欲して却て之を苦しむに足る可し或は低きも失するときは同族の富めるに纏ぐもの又して唯徒に物論の牒々を招く可きのみ況んや官物を賣るよハ其拂下規則あるものありて政府と雖も隨意に好む所に私しするみど能はざるに於てをや公平の一儀は既すでも等閑に附す可らざるなり依て我輩の所見を申述べんに政府の眼中華族を見ず又他の一會社一個の人を見ず廣く之を公賣す附す可きなれども國中誰れ一人として官設鐵道を一手に買取るものはかかる可きが故に到底私立會社の事たる可しと豫定して爰より政府の申合規則迄も製して先づ會社の組織を整頓し同時より現今官設鐵道の所有財産の品目並に營業上歲出歲入の分その重役をば指名するも實際に便利ならん尙株主等を以て其私立會社の定款を作り役員を定り（改）當手を以て其私立會社の定款を作り役員を定り（改）當官設鐵道の收入を一日一萬圓とすれば一年三百六十萬圓の内より營業費四割を引き純益二百十九萬あり、又以後着手す可き事業の豫算等を詳に記して平素等一樣天下に向て株主を募る可し例へば今日の有機より依て之を一年五分の利益に計算し利を元にして資本の數を求れば四千三百八十萬圓の額とある可し假し之を百圓株として四萬三千八百より分ち株の價百圓を標準にして競賣に附したならば世上一般理財者の見込み第十五萬圓の内より營業費四割を引き純益二百十九萬ありて或は百圓以上に買ふ者もある可し如何となれば今後鐵道の事業は次第に盛況み進むに兼て私立會社の營業を省く等の望もあればなり期の如くするときは政府は華族より負債を拂ふみと固より易く華族も亦時價に從ふ假し設けて計算の割合を示したるまでのものなれども此方法より從て政府は必ず大に利する所ある可しとは我輩の疑ひ信する所なり政府に隨時の所得あるも決して心配するに足らず由て以て人民を休養す可し國防の費より供す可し或は大より遠洋航海の事を獎勵す可し國庫の豊あるは我輩の常より冀望する所なれば此時より當て政府書ヲ直ニ當省ニ差出スコトヲ得は利益を空うす可らざるあり

きは華族を保護せんと欲して却て之を苦しむに足る可し或は低きも失するときは同族の富めるに纏ぐものにして唯徒に物論の喋々を招く可きのみ況んや官物を賣るよハ其拂下規則あるものありて政府と雖も隨意に好む所に私しするみどればさるに於てをや公平の一儲は配までも等閑に附す可らざるなり依て我輩の所見を申述べんに政府の眼中華族を見ず又他の一會社一個の人を見ず廣く之を公賣又附す可きなれども國中誰れ一人として官設鐵道を一手に買取るものはあかる可きが故に到底私立會社の事たる可しと豫定して爰より政府の手を以て其私立會社の定款を作り役員を定り（或は當分その重役をば指名するも實際に便利ならん）尙株主申合規則迄も製して先づ會社の組織を整頓し同時より今官設鐵道の所有財産の品目録並に營業上歳出歳入の観、又今後着手す可き事業の豫算等を詳に記して平等様天下に向て株主を募る可し例へば今日の有様にて諸官設鐵道の收入を一日一萬圓とすれば一年三百六十萬圓の内より營業費四割を引き純益二百十九萬ありて依て之を一年五分の利益に計算し利を元にして資本の數を求れば四千三百八十萬圓の額とある可し假よ之を百圓株として四萬三千八百より分ち株の價百圓を標準にして競賣に附したならば世上一般理財者の見込次第より鐵道の事業は次第に盛況み進むに兼て私立會社に營業費を省く等の望もあればなり期の如くするときは政府は華族より負債を拂ふみと固より易く華族も亦時價に從て鐵道會社の株を買ひ毫も公平の旨に背かずして自から家産を保護する所なり政府に臨時の所得あるも決して假に設けて計算の割合を示したるまでのものなれども此方法より從て政府は必ず大に利する所ある可しとは我輩の痛よ信する所なり政府に臨時の所得あるも決して假に設けるに足らず由て以て人民を休養す可し國防の費より供す可し或は大より遠洋航海の事を獎勵す可し國庫の豊あるは我輩の常より冀する所なれば此時より當て政府は利益を空うす可らざるあり

○ 内務省訓令第二十二號	
神佛各教宗派内ノ著其教宗派ノ事務ニツキ當省ニ出願 處分ヲ要スヘキモノハ管長ヲ經由出願セシムヘシ但シ 管長其手續ヲ拒ミタルトキヘ其次第ヲ具シ本人ヨリ願 書ヲ直ニ當省ニ呈出スコトヲ得	神佛各教宗派管長
明治廿二年五月廿七日	内務大臣伯爵松方正義
明治十八年(二月)第六號告示國道表第三十一號路線中 岡山、下津井間左ノ通變換ス	○ 内務省告示第十六號
五月廿二年	内務大臣伯爵松方正義

下	妹	國	山
津	尾	國	山
井	肉	國	山
阿		國	山
		傳	傳
		傳	傳
		中	國

○武將軍の首致行 先日白耳旗<sup>ハクイ</sup>入<sup>リ</sup>途走<sup>シテ</sup>せし武將軍<sup>ブショウジン</sup>が<sup>シテ</sup>教<sup>シ</sup>に赴<sup>シ</sup>きし由は過日<sup>ハヤヒ</sup>の紙上<sup>シナガタ</sup>に掲<sup>ゲ</sup>びたる餘威<sup>ヨウイ</sup>電報<sup>デンボウ</sup>より  
えしが近着<sup>ハヤヒ</sup>の報<sup>ハサシ</sup>依<sup>リ</sup>りて武將軍<sup>ブショウジン</sup>が白耳旗<sup>ハクイ</sup>の首領<sup>シヨウリョウ</sup>ブフ<sup>フ</sup>  
ゼル<sup>セル</sup>を去<sup>リ</sup>て英國<sup>イギリス</sup>に到着<sup>シテ</sup>せし時<sup>ハ</sup>の様<sup>マニエ</sup>相<sup>シ</sup>ざんに半<sup>ハ</sup>月廿四日<sup>ハチヨクニシテ</sup>アフツ<sup>アフツ</sup>セ<sup>セ</sup>ル<sup>ル</sup>段<sup>ク</sup>の隣<sup>ハヤシ</sup>で聞く武將軍<sup>ブショウジン</sup>、アロン伯<sup>アーロン</sup>及<sup>シテ</sup>

り同一行はオステンドより乗船して英國に向ひたれど  
も將軍の行を送るもの極めて少なかりき將軍は當府を  
去る數日前より悒々として樂まらず佛國政府が自分を追  
出せば、上はしたからも主君に貢供する所へ向ひて此の如

加人となしむる爲め非常に憤慨したる由云々死同日  
倫敦渡の報よ聞く武將軍の一行為今朝ドヴァーに捲に安  
着し出迎の爲め同港より集ひたる數多の朋友の喝采を受  
け佛國政府が將軍の擧動を探らしめんが爲めカレーよ  
り英國にて送りたる書簡こ呈せられて當政庁の列車又乗

りたり諸英國にゐる將軍の友人は將軍が倫敦に來るを知り數百人チャーリングクロウス停車場に相集りて其到着を待ち將軍の列車を出づるを見て一同喝采せしが此時停車場の外よりは數多の人民群集し或は將軍の入府を喜ぶもあり或は將軍を罵罵するもありて其喧嘩一方

ならさりしも將軍がブリストルホテルに投宿するに及んで將軍を尊信する人々は同旅館に集りたり將軍は本日或入る面會し會敷よ於て英佛兩國の交情を害するが如き事をあるやうの決心なる旨を述べたり云々又同月廿六日同所蔵の報に據れば將軍は成人一面會の際自分

は少しも獨佛の戰爭を煽動するの意志と有せざれども  
佛國の未來は永久千八百七十年の戰爭に依て定めたる  
如きものなりと信ずる能はず又佛國の侮辱は決して之  
と等閑視するを得ず而して向後英露兩國と佛國との交  
そして益々観察ならしめんなどと希望す云々と物語り

○大坂府臨時府會 去る二十四日より開會すべき大坂府臨時府會議案の要領は市郡聯帶地方稅支出後更正市部營業稅釐積額目額中更正、市部地方稅並營業稅課目額更正、市部地方稅收入豫算更正、郡部地方稅收入追加

豫算賦金殘額分收方法、大坂醫學校處分、同校費收支豫算、府立大坂博物場並に同場收支豫算、府立大坂府高等女學校引繼の各議案なるが右の内博物場、醫學校、高等女學校は從來別途の經濟として府廳に於て管理なし來れるも本年内務省令第一號の布告より博物場、醫學

校は市郡聯帶とし高等女学校は市に引き続き從前の通り別途の經濟とし博物場は現在の公債證書現金などを合せて二萬四千六百四十九圓六錢及什器備品等を元資金とし該利子及び通券料等を以て維持繼續し預算決算とも府會に於て議定する事とし督學安丈現任の公債證書現

金と合して九萬五千五百餘圓其他建物什器を元資と  
し利子及生徒授業料並に患者入院料を以て繼續なす事  
とし又高等女學校は公債證書現金を合せて六千七百四  
十七圓六十餘圓其他什器建物を以て同じく利子及生徒  
授業料等にて繕修する方針なるが如何又決すべしや云

○芝罘港より放ける穀物の販賣 現今同港より穀物販賣  
上に要する費用の割合は左の如くあるよし  
芝罘港に於ける穀物の關稅は豆類を除き米麥粟黍其他  
の雜穀は河船も倉庫用大船より其貿易と引  
々と通信中に見ゆ

取り賣渡しをあすまで清國人所有の倉庫より預け置くものあり其期限は三箇月と見て一刻とす但し期限内に搬入日数多々拘らず賣場代金の二分即ち百両より付二両を拂ふ者とす此後より倉庫迄運搬人足賃は一俵より付ニ他料費は本筋より放止物迄同四箇商頭手料料は賣場

代金千分の二、五即ち百弗又付二錢五厘是は貨物施揚  
の時に要する輸入其他開港場倉庫等の諸入費なり委託  
貿易手續料は貿易代金百分の二、五即ち百弗又付二弗  
五十仙火災保險費は貿易代金千分の三即ち百弗又付三

演説(上り)午後七時五分、八時四十五分、十時二十八分、午後二時五十分、  
分四時十五分、六時十五分、八時三十五分、  
○新潟縣立農業試驗場名古屋長治、新潟教牛浦、時、十時、午後二時、